

音楽科 担当教員：

使用教材：教科書、MY SONG（合唱曲集）、学習プリント、ソプラノリコーダーなど

【学習目標】

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しんでいく態度を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 45h
	・曲の構成を感じ取って		・音楽の特徴と情景 ・創作表現		・曲想や ・日本の歌①		夏休み	パートの役割 ・曲想と音楽の特徴		・日本の歌② ・日本の伝統音楽		冬休み	
時間	1 2						2 1				1 2		
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 35h
	・パートの役割 ・リズムアンサンブル		・オペラの魅力 ・歌詞の内容と曲想①		・曲の特徴や		夏休み	・歌舞伎の特徴 曲想を生かして		・曲の構成と曲想 ・歌詞の内容と曲想②		冬休み	
時間	1 2						1 4				9		
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 35h
	・歌詞の内容や 曲想の変化を理解して		・音楽の特徴や背景 ・全体のリズムアンサンブル		・全体の響きや 各声部の役割		夏休み	・日本の伝統音楽 ・合唱表現		・世界の諸民族の ・和太鼓に親しもう		冬休み	
時間	1 2						1 4				9		

○

○授業について

表現（歌唱、器楽、創作）と鑑賞の学習活動を通して、幅広く力を伸ばします。苦手に思う内容があっても、あきらめずに取り組む姿勢や前向きに練習を重ねる努力を大切にしましょう。

○生徒の皆さんへ

毎回の授業内での頑張りは何よりも大切です。特に技能を身に付ける、伸ばす活動を大事にしてください。
授業に必要な物は必ず持ってきてきましょう。もし忘れてしまったら借りてくることはせず、授業開始前に必ず申し出てください。また、教室移動は早めに行い、遅刻をしないようにしましょう。

○生徒の授業におけるICTの活用について

タブレット端末を使用し、話し合い活動や意見交流などを行ったり、録画や再生機能を活用して、表現の技能の定着や向上を図ったりします。

○家庭学習はこのように取り組もう

毎日取り組むような課題はありませんが、その日の学習内容の復習や学習プリントの見直しなどを行いましょう。課題を出すこともありますので、必ず取り組みましょう。また、音源がタブレット端末で聴けるようになってくるものについては、再生し、歌ってみることもおすすめです。

○定期考査前はこのようなに取り組もう

教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直しながら、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価資料	実技テスト 発表 定期考査 など	授業観察 学習プリント 定期考査 など	授業観察 学習プリント など

